



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社アイビー化粧品 上場取引所 東  
 コード番号 4918 URL http://www.ivy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白銀 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部 本部長 (氏名) 今橋 正道 TEL 03-6880-1201  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,326	6.2	345	112.4	366	120.5	230	143.4
26年3月期第2四半期	2,191	△5.6	162	△22.6	166	△17.7	94	△5.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 232百万円 (141.1%) 26年3月期第2四半期 96百万円 (△3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	10.67	—
26年3月期第2四半期	4.38	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	5,901	3,173	53.8	146.70
26年3月期	5,763	3,049	52.9	140.95

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,173百万円 26年3月期 3,049百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00~10.00	5.00~10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の配当予想については、レンジ形式により開示しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800 ~5,000	1.9 ~6.2	510 ~610	7.9 ~29.1	500 ~600	6.0 ~27.2	300 ~360	△31.3 ~△17.6	13.87 ~16.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	25,520,000株	26年3月期	25,520,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,887,357株	26年3月期	3,886,957株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	21,632,928株	26年3月期2Q	21,634,561株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

平成26年11月12日付で金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の「独立監査法人のレビュー報告書」を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済好循環、需要の継続的拡大に向けた積極的な各種政策の動きもあり、回復基調の継続が期待される反面、消費税増税による駆け込み需要の反動の長期化や、海外経済の下振れリスクが懸念されています。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、「理念に共感した販売員の拡大」と「販売力の向上」を推し進めていくために、牽引役となる販売会社との対話を大切に、販売組織の潜在ポテンシャルに焦点をあてた営業戦略の推進、当四半期の戦略軸であるスキンケアの販売強化、及び美容液「リンクル ローション」と新製品「コラーゲンC ハイパー」との併売強化を訴求し、外面、内面ともに美しさを引き出し、保つことの提案を通して、カウンセリング販売のできる人づくりと、アイビーファンの拡大を推進してまいりました。

台湾事業におきましては、引き続きコア顧客からの拡散、増客に努めてまいりました。

以上の取り組みにより、売上面におきましては、「リンクル ローション」、及び「アクシール エッセンス」が当初の想定より大幅に上回って推移し、増収となりました。

利益面におきましては、増収に伴い売上総利益が増加したこと、ならびに販売費及び一般管理費の節減を継続した結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,326,612千円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益345,653千円（同112.4%増）、経常利益366,580千円（同120.5%増）、四半期純利益230,802千円（同143.4%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益を計上するものの、売上債権の増加、法人税等の支払、配当金の支払があったことにより、当連結会計年度期首残高に比べ269,824千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,261,709千円となりました。

また当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は123,019千円(前年同四半期比344,975千円減)となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益366,580千円、減価償却費45,248千円等があるものの、売上債権の増加額407,503千円、仕入債務の減少額79,030千円、法人税等の支払額102,260千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は2,949千円(同30,256千円減)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出10,632千円があるものの、貸付金の回収による収入8,389千円、差入保証金の回収による収入6,769千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は150,643千円(同81,452千円減)となりました。

これは主に配当金の支払額107,651千円、社債の償還による支出42,000千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、厳しい状況が続くと見込んでおります。今下期におきましては、引き続き販売員の育成につとめ、コスモスシリーズの拡販、ブランクレエdxシリーズの拡販、レギュラー製品の底上げに努めて参ります。また、引き続きグループ全体で販売費及び一般管理費の節減に努め、経営努力を行ってまいります。したがって、平成26年5月13日に公表しました業績予想を達成できると見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,531,534	1,261,709
受取手形及び売掛金	1,446,730	1,854,323
商品及び製品	372,130	355,370
仕掛品	11,349	9,980
原材料及び貯蔵品	166,328	157,595
その他	128,196	158,859
貸倒引当金	△6,138	△5,919
流動資産合計	3,650,131	3,791,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	401,722	388,371
機械装置及び運搬具(純額)	38,299	32,965
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	9,600	8,685
その他(純額)	29,623	36,812
有形固定資産合計	1,000,435	988,025
無形固定資産		
	43,605	39,204
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	269,319	266,891
退職給付に係る資産	232,748	266,409
差入保証金	391,191	384,914
その他	225,277	217,662
貸倒引当金	△61,591	△62,086
投資その他の資産合計	1,056,945	1,073,792
固定資産合計	2,100,986	2,101,022
繰延資産		
社債発行費	12,095	8,636
繰延資産合計	12,095	8,636
資産合計	5,763,213	5,901,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	371,407	292,377
短期借入金	800,000	800,000
1年内償還予定の社債	284,000	284,000
未払法人税等	111,933	139,507
賞与引当金	68,011	86,449
ポイント引当金	298	224
その他	352,717	429,246
流動負債合計	1,988,368	2,031,804
固定負債		
社債	616,000	574,000
その他	109,729	122,332
固定負債合計	725,729	696,332
負債合計	2,714,097	2,728,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,287,578	3,410,215
自己株式	△1,270,665	△1,270,728
株主資本合計	3,164,912	3,287,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,880	4,631
土地再評価差額金	△118,678	△118,678
その他の包括利益累計額合計	△115,797	△114,046
純資産合計	3,049,115	3,173,440
負債純資産合計	5,763,213	5,901,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,191,550	2,326,612
売上原価	515,856	489,444
売上総利益	1,675,694	1,837,167
販売費及び一般管理費	1,512,920	1,491,514
営業利益	162,773	345,653
営業外収益		
受取利息	2,107	1,900
受取配当金	336	359
受取保険金	-	41,604
受取賃貸料	34,907	20,195
雑収入	13,619	10,120
営業外収益合計	50,971	74,180
営業外費用		
支払利息	6,999	7,042
賃貸収入原価	36,858	20,879
被災資産修繕費	-	13,901
雑損失	3,609	11,430
営業外費用合計	47,467	53,253
経常利益	166,276	366,580
税金等調整前四半期純利益	166,276	366,580
法人税、住民税及び事業税	70,756	134,504
法人税等調整額	706	1,273
法人税等合計	71,462	135,778
少数株主損益調整前四半期純利益	94,814	230,802
四半期純利益	94,814	230,802



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	94,814	230,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,654	1,750
その他の包括利益合計	1,654	1,750
四半期包括利益	96,468	232,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,468	232,553

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	166,276	366,580
減価償却費	52,223	45,248
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,613	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,666	18,437
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,203	275
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△33,660
受取利息及び受取配当金	△2,443	△2,260
支払利息	6,999	7,042
為替差損益 (△は益)	566	△889
有形固定資産除売却損益 (△は益)	11	136
売上債権の増減額 (△は増加)	△635,801	△407,503
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△71,087	26,861
仕入債務の増減額 (△は減少)	78,632	△79,030
未払金の増減額 (△は減少)	46,806	17,815
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	△3,500	—
その他	△32,887	25,020
小計	△403,277	△15,923
利息及び配当金の受取額	2,409	2,259
利息の支払額	△6,406	△7,093
法人税等の支払額	△60,719	△102,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	△467,994	△123,019
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24,695	△10,632
無形固定資産の取得による支出	△1,307	△903
定期預金の払戻による収入	50,000	—
貸付金の回収による収入	8,593	8,389
差入保証金の差入による支出	△3,900	△82
差入保証金の回収による収入	4,784	6,769
その他	△267	△592
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,206	2,949
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,075	△929
社債の償還による支出	△30,000	△42,000
自己株式の取得による支出	△290	△62
配当金の支払額	△200,730	△107,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,096	△150,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	△566	889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△667,451	△269,824
現金及び現金同等物の期首残高	1,459,273	1,531,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	791,822	1,261,709

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。